

## 第 1 回出雲市議会一般質問通告目次

6月15日(木) 10:00 開会			6月16日(金) 10:00 開会			6月19日(月) 10:00 開会		
順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ
1	19 政雲クラブ 板倉明弘	1	1	30 大社クラブ 長廻利行	8	1	16 明政クラブ 西尾敬	14~17
2	3 公明党 遠藤力一	2~3	2	20 日本共産党 萬代弘美	8~10	2	17 明政クラブ 長岡幸江	18~19
3	22 市民クラブ 米山広志	4	3	4 河南クラブ 山根貞守	11	3	18 河南クラブ 坂根守	19~20
4	1 日本共産党 大国陽介	4~5	4	21 公明党 勝部順子	12~14	4	32 新生出雲 珍部全吾	20
5	9 新生出雲 石川寿樹	6~8	5	26 市民クラブ 原隆利	14	5	12 市民クラブ 高野成俊	21~23

# 平成18年度(2006)

## 第1回出雲市議会(定例会)一般質問通告

質問者	19 板倉明弘		
質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. JR山陰本線及び一畑電鉄の連続立体交差第二期事業の実現に向けた取り組みについて	1. 第二期工事の取り扱いについては、県より10年以内を目途に着手を再検討するとの方針が平成13年3月に出された。5年以上経過した今日、この事業に対する市長の見解を伺う。 2. この方針決定にあたっての課題と、県及び市の対応が明らかにされている。都市計画道路大津中央一の谷線JRアンダーの整備、残存踏切への対応、都市計画道路出雲市駅前大津線買収済箇所への対応について、その後の取り組みと現状を伺う。 3. 残存踏切の安全対策と列車の安全運行について伺う。	市長	
2. 出生率の低下がさらに加速する中での本市における少子化対策と子育て支援対策について	1. 本市の人口動態統計の数値を伺う。 2. いずれも次世代育成支援行動計画(いきいきこどもプラン)の数値目標に対する進捗状況を伺う。 3. 放課後児童クラブ事業の課題と対応策及び直営方式の見直しについて伺う。	市長	

質問者	3 遠藤力一		
質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 心を病み死に至る人 たちへなすべきことは	<p>1. 政府は2001年から自殺防止対策費を 予算化し、相談体制の整備・啓発などを行 ってきたが、当市における相談体制・啓発 事業は、どのようなものを実施してきたの か伺う。</p> <p>2. 鳥根県では昨年230人も多くの人が 亡くなっている。当市においても病院・行 政窓口などで未然に相談を受けたり、未遂 により心のケアを受けたりしている本人や 家族の方がいると思われるが、当市におけ る相談体制・啓発事業は、効果があったと 思われるか。また問題点やケアの状態など 聞かせていただきたい。</p> <p>3. 関連団体は市内のどこにいくつあるのか、 その活動はどのようなもので、どのように リンクしているのか伺う。</p> <p>4. 自ら命を絶つことは絶対にいけない、残 された家族はさらに深い悲しみを持って生 活している、そのようなことを教育の場で 教える機会はあるか。</p> <p>5. 健康問題が一番の原因、二番目は経済苦 だ。いわゆる社会的要因である差別・格差 の問題など、追い詰められ悲観をして、死 を選ぶ人たちがいる。現実を改善し生きて</p>	市 長	

	<p>いく希望を与えられる、総合的な解決力を持った対策室などが必要だと考える。</p> <p>今国会に提出された「自殺対策基本法案」を踏まえて、今後どのような取り組みをしていくべきか、市長の見解を伺う。</p>		
<p>2. 陽子線利用によるがん対策の推進を求める</p>	<p>1. 加速する高齢化によって、がんが急増、日本人の死亡原因の第一位を占め、10年後には、2人に1人近くががんで死亡すると言われている。がんはまさに国民病、今や、「がんを知らない」ではすまされなくなっている。今国会で、がん予防や研究を総合的に推進する「がん対策基本法案」が提出されている。出雲市におけるがん医療の現状について、そしてこの法案について市長の見解を伺う。</p> <p>2. かつて日本人のがんと言えば、胃がんが主流であった、胃がんの治療は手術がほとんどで、「がん治療＝手術」というイメージにつながってきた。しかし、生活習慣の欧米化にともなって、胃がんは減少し、肺がん、乳がん、直腸がん、前立腺がんといった欧米型のがんが台頭。その治療に有効な放射線治療が高い成果を収めている。特に陽子線治療は、副作用が少なく、痛みも無く、通院しながらの治療も可能であることから、身体的負担の少ない治療方法として期待が大きい。陽子線治療施設は現在全国に5ヶ所しかない、県と協力して出雲市にこの施設を造っていただきたい。</p>	<p>市長</p>	

質 問 者	22 米 山 広 志
-------	------------

質 問 事 項	質 問 内 容	答 弁 を 求 め る 者	記 事
1．誘致事業者物件等移転補助金	1．それぞれの団体に対しての補助対象金額及び交付金額 2．補助金確認事項が履行されているか	市 長	
2．出雲市内の集配郵便局の再編	1．日本郵政公社から出雲市にいつ、どのようにされたか、その内容について 2．現状のサービスが維持できるか疑問。市として総務省、日本郵政公社への働きかけについて	市 長	
3．新出雲風力発電事業	1．作業用道路が市道か林道か 2．地元雇用と経済効果 3．自然災害対策 4．森林環境の保護対策 5．文化財の保存対応 6．優遇措置	市 長	

質 問 者	1 大 国 陽 介
-------	-----------

質 問 事 項	質 問 内 容	答 弁 を 求 め る 者	記 事
1．市長の政治姿勢について	1．二度と戦争をしない、武力を持たないと決めた憲法九条を変えようとする動きがあるが、憲法九条に対する市長の考えを伺う。	市 長	

	<p>2. 教育基本法は「教育の憲法」ともいわれる重要な法律であるが、教育基本法についての市長の認識を伺う。</p> <p>3. 新型交付税の導入など、国の地方切り捨ては目に余るものがあるが、この動きについて市長の所見を伺う。</p>		
2. 島根原発でのプルサーマル計画について	<p>プルサーマル計画は危険性が高く、問題も多い。島根県や中国電力に対しプルサーマル計画の中止を求めているが、所見を伺う。</p>	市長	
3. 出雲阿國座計画は住民参加で見直しを	<p>1. 出雲大社球場に2008年完成の予定で進める理由は何か。</p> <p>2. 地元大社町で理解は得られているか。</p> <p>3. 総事業費、維持管理費はどの程度を想定しているのか。</p> <p>4. 観光振興策は住民参加で進めるべきであり、本事業の中止を含む見直しをもとめるが、いかがか。</p>	市長	
4. 出雲弥生博物館について	<p>1. 弥生博物館建設の市長のねらいは何か。</p> <p>2. 今急ぐべき事業ではない、計画を見直すべきと考えるが、市長の所見を伺う。</p>	市長	
5. 乳幼児医療費の無料化を	<p>小学校入学までの子どもの医療費を無料にした場合にかかる費用は、年間2億5千万円であり、すぐにでも実現可能と考えるが、市長の所見を伺う。</p>	市長	
6. 多伎町循環バスの利便性向上を	<p>1. 富山からの始発時刻を早めて、JR田儀駅の列車に接続させ、出雲方面への通学に利用できるようにして欲しいとの要望があるが、いかがか。</p> <p>2. バス停「JA田儀支店前」は国道9号線</p>	市長	

	沿いにあり、不便で危険がともなう。旧道を通るルートに変更できないか。		
質 問 者	9 石 川 寿 樹		
質 問 事 項	質 問 内 容	答 弁 を 求 め る 者	記 事
1．風力発電とプルサーマル	<p>1．新出雲風力発電事業について、最近の進捗状況はどのようになっているのか。</p> <p>2．島根県景観審議会が開催され、この問題が取り上げられているが、その審議状況について伺う。</p> <p>3．松江市においても、市民を対象とした説明会や景観審議会が開催され、同審議会の答申を踏まえて、島根県に対し、意見提出されたようだが、その内容について伺う。</p> <p>4．風力発電とプルサーマルを比較した場合、安全性や放射性物質の周辺環境に与える影響面などからして、格段に風力発電が優れていると思うが、市長の考えはどうか。</p> <p>5．EPZ（緊急時計画区域）に旧平田市地合町が入っているが、この計画について島根県なり中国電力から、事前に本市に対し、説明があったのか。</p> <p>6．万が一、地震やミサイル・テロ攻撃などにより、島根原発で事故や災害が発生した場合、本市への影響はどのようなことが想定されるのか。また、これの備え、災害対策は万全か。</p>	市 長	
2．行政連絡員制度について	1．本年4月の組織機構の見直しにより、新たに地域振興部が誕生し、4課体制の一つ	地域振興部長	

	<p>として自治振興課が設置された。この自治振興課を設けたねらい、主な事務内容について何う。</p> <p>2．本年4月から行政連絡員制度の見直しにより、従来の「委嘱」と「委託」方式が「委託」方式に統一された。「委嘱」と「委託」はどこが、どのように違うのか。</p> <p>3．同制度の見直しに伴い、委託内容の変更があったのか。また、委託料はどのようになったのか。</p> <p>4．同制度の見直しに伴い、地区の自治協会や町内会段階で、若干の混乱が生じているようだが、事前の説明や主旨の徹底が十分に行われたのか。</p>		
<p>3．河川の浄化及び活動助成制度</p>	<p>1．本年度から、県河川および一部の市河川の浄化作業（除草や浚渫など）が、地区土木委員会への委託から業者への委託方式に変更された。</p> <p>業者へ委託する河川の選定基準はどのようになっているのか。また、河川数と総延長距離はいくらか。</p> <p>間もなく梅雨の時期を迎えるが、何時ごろ、どこから、どの範囲まで行うのか。</p> <p>業者委託に伴う予算措置はどのくらいか。また、従来の地区土木委員会への委託方式と比較し、経費がどのくらい増えるのか。</p> <p>2．本年度から、地域住民が行う除草や川浚えなどのボランティア活動に対し、市から助成する新たな制度が設けられた。こうし</p>	<p>建設事業部長</p>	

	<p>た制度を創設したねらい、その内容について何う。</p> <p>また、道路の清掃活動などに対しても、同様の助成制度があるのか。</p> <p>3. 高齢化の進展に伴い、河川浄化などの作業を業者に委託するのは、時代の趨勢であるとする。一方で、厳しい財政状況のなか、ますます市民の「協働」やボランティア活動が求められてもいるが、こうした点をどのように認識しているか。</p>		
--	---	--	--

質問者	30	<b>長 廻 利 行</b>
-----	----	----------------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 集配郵便局の再編について	<p>1. 集配局の廃止に伴うサービス低下について</p> <p>2. 現在締結している協定書の履行について</p>	市長	

質問者	20	<b>萬 代 弘 美</b>
-----	----	----------------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. いま、貧困と格差が広がっているもとの市長の政治姿勢について	1. 小泉内閣の構造改革のもとで、貧困や社会的格差が広がっている。国保料滞納世帯や子供の教育環境でも就学援助制度対象世帯が増えている。こうした市民の厳しい暮らしの実態についてどのようにとらえ、受	市長	

	<p>けとめられているのか。</p> <p>2. 市民の暮らしが大変なとき、今最優先で取り組むべきは、国の悪政から市民の暮らし、福祉を守ること（地方自治の本旨）を最優先すべきである。阿國座、弥生博物館など不要不急の大型施設の建設は中止し、市庁舎も、市民の合意なく急いでつくるべきではない。市長の所見をうかがう。</p>		
2. 教育環境の充実で格差是正を	<p>1. 給食費やテストなどの教材費をはじめ、修学旅行のお金が払えない児童が増えている。就学援助制度の適用基準の拡大などをはかるべきではないか。</p> <p>2. 清心養護学校など市外に通学する児童に対して、通学用スクールバスの保障、出雲養護学校へ分教室を開設してほしいという要望はどこまで検討されているのか。</p>	教育長	
3. 障害者自立支援法実施後の問題と市として責任ある当面の対応を	<p>1. 利用者の1割の利用料負担は、重すぎる。小規模作業所など利用料負担の軽減策の実施を求める。</p> <p>2. 小規模作業所の報酬額の仕組みが月額単価から日額単価へと運営費が削減になり、運営が危ぶまれている。国の制度を根幹から改善を求めると同時に、当面の救済策として、施設運営維持のため市独自助成をすべきである。</p>	市長	
4. 改定都市計画法のもとで、巨大店イズミ出店計画の受入れ撤回に向けた決断を	<p>1. 都市計画法が改定され、現計画地域における巨大店イズミの出店は「原則不可」となる。それでも進めようとする理由は何か。</p> <p>2. 独自調査による出店影響調査結果では、どのような影響、問題があるのか。また、</p>	市長	

	<p>近隣住民から出されている要望は、すべて解決できると考えているのか。</p> <p>3．青少年健全育成や近隣住民の環境に及ぼす影響、中心商店街や近隣中小業者の皆さんたちの努力に水をかけるようなものなど、出店を心配する切実な関係者の声に今一度、耳を傾け、出店受入れについて再検討し、多くの市民の理解が得られる市民参加の新出雲市のまちづくりに向け努力すべきではないか。</p>		
5．住民生活に重大な影響をもたらす集配郵便局の廃止問題について	<p>日本郵政公社が2007年10月の郵政民営化に向け、郵便物の収集・区分と配達業務を廃止・縮小する再編計画がある。その対象としてあがっている市内の稗原、朝山、神西、大社郵便局では、地域に密着したサービスの低下が大変憂慮されている。住民生活に重大な影響を与える集配郵便局廃止について撤回を求めるべきではないか。</p>	市長	
6．自然や生活環境を損ねる大規模な風力発電計画は見直しを	<p>1．企業との契約期間が終了した後の維持管理などどうなるのか。市や地元住民の負担が心配されている。</p> <p>2．幅5.5メートル、長さ16キロメートルの作業道建設によって、斜面の崩落などによる自然や生活環境の破壊につながるのではないか。十分な住民説明会を実施すべき。</p>	市長	

質問者	4 山根貞守	
質問事項	質問内容	
1. 「21世紀出雲のグランドデザイン計画」に基づく新出雲市の合併後10年間の取り組みについて	<p>1. 本年3月に策定された、新出雲市の2006年度から2008年度までの3年間の中期財政計画に対する取り組みと、合併後10年間の展望した財政運営に対する、市長の見解を伺う。</p> <p>2. 国は今、「新型交付税」を2007年度からの導入を提案している、これが実現されれば、新出雲市の財政計画への影響がどのようになるのか市長の見解を伺う。</p>	
2. 食物アレルギーに対する学校給食の対応について	<p>1. 2004年3月「出雲市食物アレルギー対応給食検討委員会」の検討報告が旧出雲市になされた所ありますが、新出雲市にこれがどの様に反映をされるのか伺う。</p> <p>2. 2005年9月に「出雲市食物アレルギー対応給食検討委員会」の検討報告を受け、また「食物アレルギー診断基準検討会議」の結果を受け、今後どの様に新出雲市として統一した対応をする考えがあるのか伺う。</p> <p>3. 2市4町が合併し新出雲市となり6箇所の給食センターでそれぞれの園児・児童・生徒に学校給食が配食されているが、食物アレルギーに対する取り組みがそれぞれの給食センターで対応が異なっているが、これに対して市長の見解を伺う。</p>	
3. 県立湖陵病院の移転後の跡地利用について	<p>県立湖陵病院は昭和44年11月に旧湖陵町大池に島根県の障害者基幹病院として、新築開院以来、今日に至った所ですが、施設の老朽化や社会的要因の中で、平成20年2月に新出雲市下古志町に移転が決定している所があります。</p> <p>また、これに伴いまして島根県との協議の結果、平成20年度中には、現施設を解体撤去される事となっております。</p> <p>この県立湖陵病院跡地は、約5ヘクタールあり当時開院にあたり多くの地権者の皆様の協力と、地域住民の支援の下で、今日まで地域に根ざした病院として存続できたところであります。</p> <p>島根県の、今の財政状況を見ます時に、県に施設を要望致しましても、今までの島根県との事前協議の中では、非常に厳しいものがあります。</p> <p>したがって、新出雲市におきましては、グランドデザイン計画前期に民間開発による、宅地分譲の促進をはかる様位置付けられています。</p> <p>また、これらの開発に伴いまして、蛇池地区の簡易水道の拡張、下水道の整備などがあります。</p> <p>また、グランドデザイン計画ではこの区域を、海洋・観光資源活用エリアと位置づけ、国道9号線から海岸道路を結ぶ幹線道路を新設し、海を活用した観光開発を進める事となっております。</p> <p>5ヘクタールからなる面的開発、また線的整備が予想される訳でありますので、地元の代表者も参加して頂き「検討会議」を立ち上げて、将来に向かって前向きな検討をする場を設置する考えはないのか市長の考えをお伺い致します。</p>	

質問者	21 勝部 順子		
質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 出雲弥生博物館(仮称)建設事業について	<p>1. 博物館建設計画について市民への周知について 「平成19年春に「古代歴史博物館」がオープンするのに、市内にまた博物館を建てる必要があるのですか」との市民からの声を良く聞きます。市民の理解は得られているのでしょうか。市民への声に応えてください。</p> <p>2. 弥生博物館の活用計画について 活用計画の中に学校教育への取り組みとして、小中学生をバスで通わせ学習させるとの説明を聞いています。学校現場は大変に多忙で時間的な余裕、先生たちの対応など無理があるのではと考えます。わが町の歴史文化に触れることは大変意味のあることで重要なことだとは思いますが。しかし出雲市内には他にも遺跡が散在しています。遠足や、家族や友人と自由に見学することも十分に活用できるのではないのでしょうか。あえて生徒たちを通わせて学習を受けさせることは必要とは思いません。学校現場の現状をよく理解していただき検討していただきたいと思います。市長のお考えを伺います。</p>	市長	
2. 食育の取り組みにつ	1. 平成17年9月に実施された、食育アン	教育長	

<p>いて（教育現場）</p>	<p>ケートの結果について伺います。</p> <p>2．学校給食（好き嫌い・完食）の状況について伺います。</p> <p>3．朝ごはんを食べない子どもや「好きなモノだけ食べたい症候群」など、子どもを取り巻く食の現状があります。子供の運動能力の低下や糖尿病など子供の生活習慣病などの深刻な問題にも影響が考えられます。子どもと親とともに考えて取り組まねばならない課題ではないでしょうか。食育基本計画では、「朝食を抜く小学生を5年後にゼロにする」など具体的な数値目標が掲げられています。</p> <p>全国の学校現場ではいろいろな取り組みが始まっています。出雲市では今後教育現場での食育の取り組みをどのように推進されていかれるのかお考えを伺います。</p>		
<p>3．子育てしながら就職を希望する方への支援について</p>	<p>1．子どもを産んだ女性の約7割は出産後、半年以内に退職していますが、子育てが一段落して復帰をめざしたとしても、希望に沿った再就職は極めて難しく、総合的な支援が必要とされています。</p> <p>そんな中、子育てをしながら就職を希望している方に対して、子ども連れで来所しやすい環境を整備し、個々の希望やニーズに応じたきめ細やかな就職支援を行うマザーズハローワークが全国12の都市でオープンをしました。会派の視察で、渋谷のマザーズハローワークを視察してきました。</p> <p>「求職活動したくても、子どもをつれて</p>	<p>市長</p>	

	<p>なかなかできない。」「仕事を探したいが、子どもがいて行動できない」などの声を良く聞きます。マザーズハローワークは、施設内に子どもが絵本やおもちゃで遊べるチャイルドコーナーや、授乳室も設置してあり安心して仕事探しができるよう工夫してあります。</p> <p>出雲市では、「総合雇用情報センター」の開設が進められていますが、女性が子どもを連れて気軽に利用できるマザーズハローワークの出雲バージョンを合わせて設置されるよう提案します。</p>		
--	---	--	--

質問者	26 原 隆 利
-----	----------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 出雲市の財政運営について	1. 今後の財政見通しについて(地方財政全般) 2. 合併特例債の交付税措置は信用できるか。 3. 新庁舎建設に伴う財政運用の変更は。	市長	

質問者	16 西 尾 敬
-----	----------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 本庁と支所のあり方について	1. 合併して既に1年が経過した現在でも、支所の対応について住民の皆さんから批判	市長	

	<p>が絶えないことをご存知のことと思う。</p> <p>支所機能を有効に機能させるにはどうすべきなのか、検討がなされているのかまず伺う。検討されたのであれば、どの部署が又検討の組織が出来ているのか伺う。</p> <p>2．本庁と支所の機能についてはっきりしていないのが現状であり、住民の皆さんにも戸惑いを与えている。双方の機能を整理し、住民の皆さんに知らせるべきと考えるが所見を伺う。</p> <p>3．人事異動の都度支所職員が減らされているが、本庁と支所の機能分担と人事異動が連動されていないように思う、もっと総合的に検討すべきと思うがどうか。</p> <p>4．合併協議の中で、合併後 10 年間で 255 人の職員を削減することとなっているが、定数減等の具体的な計画と支所職員はどこまで削減されるのかお示し願いたい。</p>		
<p>2．緊急放送又は防災行政無線の取り組み状況について</p>	<p>昨年開催された、市政フォーラムで多くの要望があった緊急時の情報伝達手段である緊急放送あるいは防災行政無線の取り組みについて伺う。</p> <p>旧市町によりいろいろな取り組みがなされていたようであるが、この事業も市内統一した施設が必要と考える。フォーラムの答弁でも防災無線は有効な手段であり防災計画のなかに取り入れて検討することであったが検討経過を伺う。</p> <p>側聞した所によると、JAの有線設備が老朽化のため、管内全域を対象とする手段が検</p>	<p>市 長</p>	

	<p>討され、行政との協議も実施されたようだが、どのようになっているのか伺う。</p> <p>事業主体はいずれにせよ、早急に対応し市民の安全を守り、安心を与えることが重要と考えるが所見を伺う。</p>		
3. 農業振興について	<p>1. ポジティブリスト制度に対する行政としての反応について</p> <p>03年5月に成立した改正食品衛生法のうち3年間の猶予期間が設けられていた本制度が5月29日より施行され、生産農家にとって厳しい対応が求められている。もとよりJAでは、生産部会等を通じ指導がなされているが、市としては県の制度運用を見ながら、どのような対応が取られているのか伺う。</p> <p>2. 21世紀出雲農業3F事業について、本年度予算化され先般運営協議会が開催されたところであるが、本事業への申請状況及び事業の認定状況について伺う。</p> <p>又、農業振興事業の中で大型農機具等の申請について、県の補助事業との関連についての考え方について伺う。</p> <p>3. 鳥獣被害対策については、過去数回にわたり質問を致しておりますが、農家の皆さんからの苦情は絶えない昨今であります。県の対策は、近年かなりの予算を投入されその効果は上がっておりますが、あくまでも保護区内の対応であります。昨年の市政フォーラムにおいて出された要望は、保護区外の被害農家の方がほとんどでありま</p>	市長	

	<p>す。そこで県及び市としても保護区外の被害調査及び生息調査等を実施し実態を把握のうえ、対策を考えるべきと思うが所見を伺う。また市長は、この問題は知事と直談判して抜本的に解決するとの答弁もあっているが、その後の進展があればお示し願いたい。</p> <p>4 .19年度より導入される戦後農政の大改革経営所得安定対策等大綱が昨年10月に発表されて以来本日まで、その衆知徹底と対象者の拡大に行政、JA共に大変な努力がなされて来た。そこで市内における認定農業者及び集落営農又農地の集積率が3年あるいは5年後に掲げた目標に対しどの程度の実績となったのか伺う。</p> <p>一方、経営安定対策の対象から外れた農家のフォロー及び今後新しい品目の栽培を計画する場合の基盤整備等の補助が得られるのかという懸念があるので見解を伺う。</p> <p>又、この大綱の中に農道や水路などの保全活動を支援する「農地・水・環境保全向上対策」が盛り込まれる計画であり、農業の多面的機能を生かす上で重要であり、市としても活用すべきと考えるが、現時点での所見を伺う。</p>		
--	--	--	--

質問者	17	<b>長岡幸江</b>
-----	----	-------------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 食育のまちづくり推進計画について	<p>1. 食育の必要性を市民にどのようにアピールし、理解と協力を得、食育活動の推進展開を図る考えか。</p> <p>2. 家庭・学校・企業・社会における食育推進事業についての取組みは、またその範囲についての考えは。</p> <p>3. 推進計画と推進システムづくりについて。</p> <p>4. 食の安全・安心に関する食育についての取組みについて。</p> <p>5. 食の教育・学習及び体験についての取組みについて。</p> <p>6. 「生命」の基盤は、「食と農」にある。『食と農』を大切にす政策についての考えは。</p> <p>7. 当市民の食育に関する意識調査・実態調査、並びに健康・栄養調査の実施についての考えは。</p>	市長	
2. 教育行政について	<p>1. 小・中学校の施設点検・整備、併せて子どもたちが健やかに学習できる環境整備も検討すべきと考えるが、この課題についての整備計画・対応策について何う。</p> <p>2. 学校の安全管理・安全教育についての対応、併せて児童の安全対策支援についてのお考えを何う。</p> <p>3. 人づくり・地域づくりの総合的な拠点であり、地域と行政の調整窓口としてのコミュニティセンターの果たす役割は多岐にわ</p>	市長	

	<p>たっている。望ましい公民館のあり方が問われています。コミュニティセンターとしての機能が十分発揮でき、地域住民のニーズに応えられる運営を期待しています。運営方針についての考えを伺う。</p> <p>4．学校・地域・家庭・関係機関との連携、協働についてのシステムづくりについて。</p> <p>5．地域、家庭が一体となって子ども力を育む「地域学校運営理事会」の組織づくりと運営方針について。</p>		
--	--	--	--

質問者	18 坂根 守
-----	---------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1．財政運営について	<p>1．中期財政計画が3月議会で提示されたが、合併前の新市建設計画の財政見通しと比較して、18年度から20年度の3ケ年トータルで113億円も上回る計画、主な原因は何かお伺いします。</p> <p>2．合併特例債が新出雲市に497億円ありますが、17年度・18年度で約30%の150億円を使う計画、10年間で平均的に使うべきではないか。</p> <p>3．経常収支比率は22年から23年がピークであり、あくまでも予測だが94%位になると説明されたが、今後庁舎や弥生博物館などの建設予定があるが大丈夫か。</p>	市長	
2．小中一貫教育について	1．平成19年度より小中一貫教育を実施す	市長	

て	<p>る計画、その中で教員の相互乗り入れとあるが、教員の増員を県にお願いするとか、新たに市で採用する計画があるのか。現状では授業は勿論のこと、研究や部活動の指導また生活指導などがおろそかになると心配する声がありますのでよろしく願いします。</p> <p>2. 不登校発生を予防できる効果があると聞きます。これからの厳しい社会を生き抜くためには中学校入学時の不安や緊張を乗り越えることも必要と考えるが、手を差し伸べすぎてもいけないのではと思うがいかがでしょうか。</p>		
---	--	--	--

質 問 者 32 珍 部 全 吾			
質 問 事 項	質 問 内 容	答 弁 を 求 め る 者	記 事
1. 斐伊川・神戸川治水事業について	<p>1. 放水路～神戸川の一級河川指定について 一級河川指定についての市長の基本的所感について 昭和 57 年 9 月議会での同意条件 6 項目について 3 点セットの現況と今後の見通しについて</p>	市 長	
2. 固定資産税について	<p>1. 課税標準額がアップしている様だが所感 は 2. 固定資産税についての今後の基本的考え について</p>	市 長	

質 問 者	12	<b>高 野 成 俊</b>
-------	----	----------------

質 問 事 項	質 問 内 容	答 弁 を 求 め る 者	記 事
1. 市庁舎建設について	<p>1. 市長の意向であった現庁舎地での建設から中央病院跡地へ変更をされた市長の考えについて。</p> <p>2. 中央病院跡地へ庁舎が移転した場合、現庁舎跡地の将来の活用はどのように考えているのか。</p> <p>3. 将来の出雲市財政を考えた場合、本当に中央病院跡地を取得しての建設は適切であるのか。県からの取得時期は何時頃か取得金額はどうか。</p> <p>4. 新庁舎建設工事に当たっては市内の建設業協会から地元業者への発注の要望がされている。昨今の厳しい地域経済状況の中や、また出雲市合併の象徴とも位置づけられる新庁舎は市内の建設業者の技術力を結集しての建設が望まれるのではないかと。また一括発注方式ではなく、分割発注するなどして、建設効果を広く市内事業所が受けれるよう努めるべきだと思いが市長の考えを伺う。</p> <p>5. その他、事前通告後に解かる新庁舎建設に関わる件について</p>	市 長	
2. 生活習慣病予防対策、癌検診の取り組みについて	<p>1. 出雲市の生活習慣病予防対策の施策と、国保事業の取り組みについて</p> <p>2. 国保事業における癌の早期発見の為の施策について</p>	健康福祉部長	

<p>3 . 公共事業の民活について</p>	<p>1 . 地方財政改革を進めていくには、無駄の排除は不可欠であり、国が示している一律の基準に従った事業には大きな無駄があると言われて、各自治体はそれぞれ規模も環境も違うことから、規制に囚われず、独自の事業執行がこれから強く求められていると考えます。</p> <p>そのような観点から、道路事業を例に挙げると、出雲市では道路事業を進められる中で、地域住民が行政より生コンの現物支給を受け、生活道路を対象にした舗装のしていない市道や林道において住民が主体となって労働力を提供して道路を建設する事業が行われています。</p> <p>この事業は、住民が労働力を担うことでコスト削減が図られると共に、市内各地区の住民、特に市内周辺部から非常に歓迎されている事業として、かなりの要望があると聞いています。</p> <p>しかし、その事業費は17年度で247万円、18年度予算では250万円と非常に低い予算規模である事から、各地区の要望に応えきれないとの話を伺います。</p> <p>地域住民が地域の独自性や街づくりの主体性をもって行う事業は積極的に進めるべきと考えます。先進地の事例など参考にしながら行政の考え方を伺います。</p> <p>17年度の要望量（箇所）と実績（生コン支給量と敷設面積）</p> <p>18年度の要望量と計画（計画数と支給</p>		
------------------------	--	--	--

	量、予定敷設面積)		
--	-----------	--	--